

第1993号

2021年9月26日  
日本共産党根室市議団  
根室市宝林町4-203  
TEL 23-6023  
FAX 24-1684

# 文教厚生常任委 委員長に橋本議員 鈴木議員は総務経済副委員長

根室市議会は17日開会議会を開き、正副議長のほか、各委員会の委員配置、正副委員長などを決めました。

議長選挙・鈴木議員は次  
チェック機能を果たして  
いくとともに、建設的な提  
案も大いに行つていく、そ  
うした議会づくりの全力  
を尽くします。

議長選挙には党議員団  
の鈴木一彦議員のほか、  
創新の田塚不二男議員、  
市民クラブの本田俊治議  
員が立候補しました。

3名による決意表明の  
後、全議員16名による投  
票を行い、田塚議員が9  
票で当選、鈴木議員は4  
票で次点でした。

鈴木議員の決意表明は  
次の通りです。  
「8月22日投票の根室  
市議会議員選挙の投票率  
は、過去最低のものとな  
りました。このことは、  
市民のみなさんの、議会  
に対する厳しい評価の表  
れであり、私たち議員は  
大いに反省しなければな  
りません。

私は、議長として、議  
会に対する市民のみなさ  
んの批判を真摯に受け止  
め、行政に対して厳しく  
チェック機能を果たして  
いくとともに、建設的な提  
案も大いに行つていく、そ  
うした議会づくりの全力  
を尽くします。

私は、議長として、議  
会に対する市民のみなさ  
んの批判を真摯に受け止  
め、行政に対して厳しく



党議員団の委員会配置に  
ついて

鈴木一彦議員と橋本竜  
一議員の各委員会の所属  
は次の通りです。

鈴木議員



総務経済常任委員会（副  
委員長）

議会運営委員会  
北方領土・水産対策特別  
委員会

橋本議員



文教厚生常任委員会（委  
員長）

広報委員会（予定）

この風景を守るため

日本共産党前衆議院議員・はたやま和也



米価暴落が心配です。米どころの上川管内では「この価格で来年の営農計画が立てられるだろうか」との声が聞きました。こんな時でも外国産米を輸入し続ける政府に「今こそ国産米を買い入れて農家を支えるべき」と声を大にして言いたい。収穫の秋を喜べないようでは次の世代だって農家を継ぐことができません。

酪農家の不安も広がっています。コロナ渦で乳製品の需要が減り、在庫が増える一方、生乳は毎日搾るわけですから、加工・保管していくのにも限界があります。価格下落の心配に加えて輸入配合飼料の値上がりや厚岸町、標茶町ではヒグマが牛を襲ったことで放牧できない負担にも襲われています。「災害レベル」（標茶町）との言葉も大げさではない実態なのです。思い返せば私の初質問は「酪農郷を救え」でした。当時は北海道だけでも200戸もの酪農家が酪農・離脱し、TPPを結べば大打撃だと訴えました。酪農家から話を聞いて準備し、一言一言をムダにするもんかと質問に臨んだことも、「言ったことすべてを質問してくれた」と喜びの声が寄せられてホッとしたことも、昨日のように覚えています。

稲穂は頭（こうべ）が垂れるほど実り、放牧された乳牛はのんびりと草を食（は）む。当たり前のような北海道の風景も、農家の努力の積み重ねがあったからこそ。農林漁業と地域を守れと、秋の総選挙にこそ強く訴えていきたい。